

「宇宙に近く フライデーナイト」

京大

2019 年度

天文教室

in 丸の内

「京大天文教室 in 丸の内」は、京都大学の天文学者がファラデーの例にならい、金曜の夜に最先端の天文学の研究成果を市民向けに分かりやすく講演する全10回シリーズです。

第1回

2019年5月17日(金) 18:30~20:00

川中 宣太 京都大学白眉センター 特定准教授 「星の最期とその後」

太陽のような星(恒星)は永遠に輝きつづけるわけではなく、いつか一生を終えます。しかし、その最期を迎える瞬間やその後に残される中性子星やブラックホールといった天体からは、生きている星にも負けないような激しいエネルギー放出が起ることが分かっています。本講演では、これらの天体現象とその観測手法について専門用語をなるべく使わずに紹介し、最新の研究で何が分かっていたかについてもお話したいと思います。

| 講師プロフィール |



2008年京都大学大学院理学研究科博士課程修了。東京大学ビッグバンセンター特任研究員、高エネルギー加速器研究機構博士研究員、ヘブライ大学ラカー物理学研究所ポスドク、東京大学理学系研究科助教を経て、2016年より京都大学白眉センター特定准教授。降着円盤、ガンマ線バースト、宇宙線加速などの高エネルギー天体現象の理論的研究を行っている。

会場 新丸ビルコンファレンススクエア (新丸の内ビルディング 9階)

東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸の内ビルディング 9階

[受講料] 一般 2,500円、高校生以下 500円 (税込)

[問合先] 京大オリジナル株式会社

[定員] 100名 (中学生以上が対象)

研修・講習事業部 担当: 川村・柳本

[主催] 京都大学理学系研究科宇宙物理学教室・附属天文台

TEL: 075-753-7770

京大オリジナル株式会社

mail: kensyu@kyodai-original.co.jp

[申込] <https://www.kyodai-original.co.jp/?p=3425>



[申込締切] 5月13日(月)

